

## 付録2 文献管理ソフト

最近は学術情報のデータベース化が進み、特定の主題に関する文献を一度に、かなり網羅的に検索することができるようになりました。こうした検索結果をそのまま文献リストとして保存・編集し、論文の執筆時に再利用できるようにしたものが文献管理ソフトです。

### (1) 文献管理ソフトでできること

文献管理ソフトと呼ばれるものは通常、以下のような機能を備えています。

- データベースの検索結果から文献リストを一括作成し保存
- 作成した文献リストの編集・検索
- 作成した文献リストから論文執筆時に参考文献リストを自動作成

文献管理ソフトは価格や機能によっていくつも種類があります。利用環境や目的に合わせて選ぶことが大切です。多くの場合トライアル版が用意されていますので、実際に使ってみて決めるのもよいでしょう。

入手	製品名	利用環境	提供元
市販	EndNote	Win,Mac	(株)ユサコ
	Reference Manager	Win	(株)デジタルデータマネジメント
	GetARef	Win	(株)パーシティーウェブ
シェアウェア	Ref for Windows	Win	<a href="http://member.nifty.ne.jp/refwin/">http://member.nifty.ne.jp/refwin/</a>
無料	Bunso	Win	<a href="http://hp.vector.co.jp/authors/VA005818/">http://hp.vector.co.jp/authors/VA005818/</a>
	refEDIT	Mac	<a href="http://www.vector.co.jp/soft/mac/edu/se105180.html">http://www.vector.co.jp/soft/mac/edu/se105180.html</a>

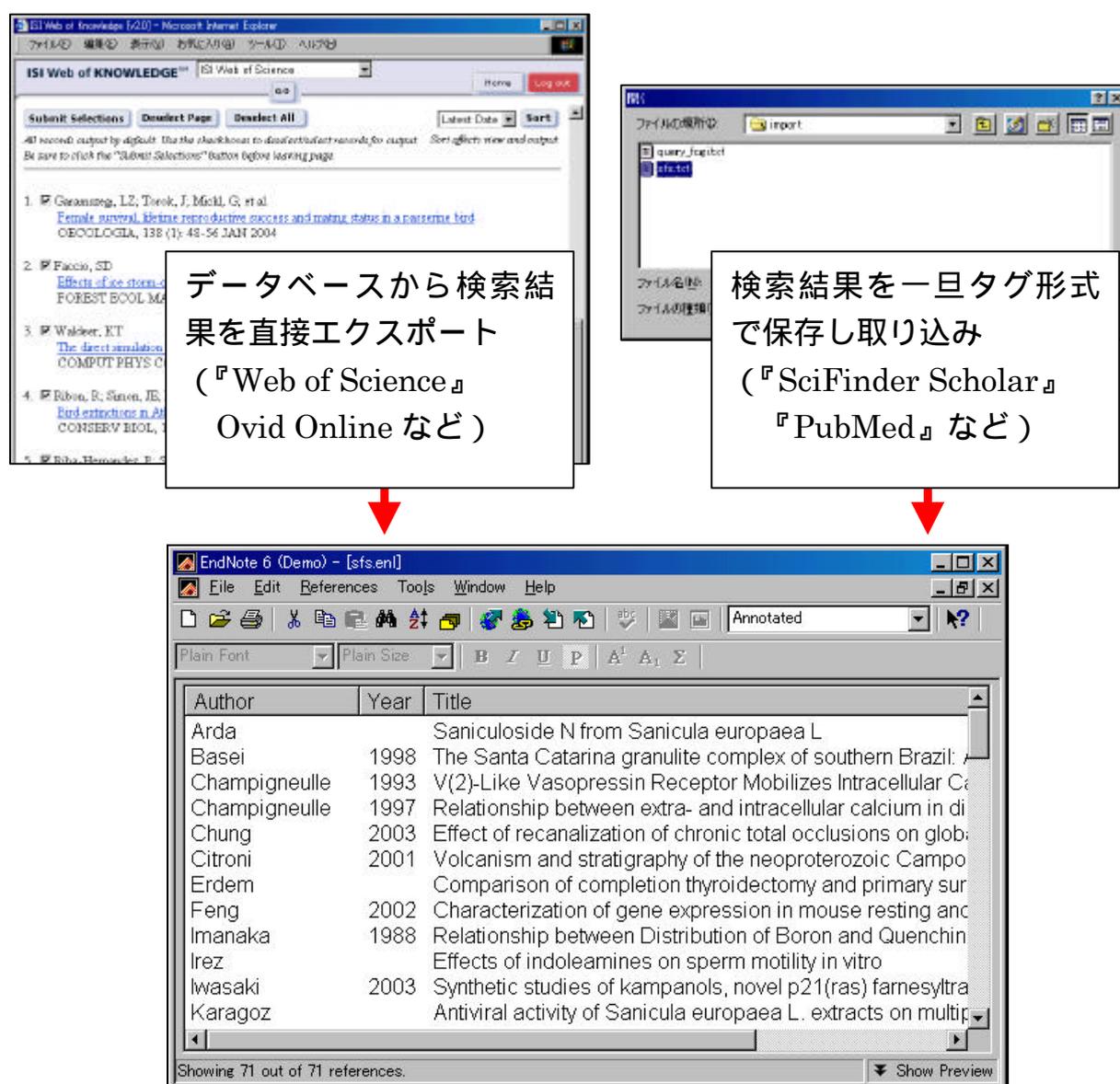
図表 付録 2-1 文献管理ソフトの種類

## (2) 文献管理ソフトの例

ここでは代表的なソフトである『EndNote』を例に、文献管理ソフトの機能を簡単に紹介します。

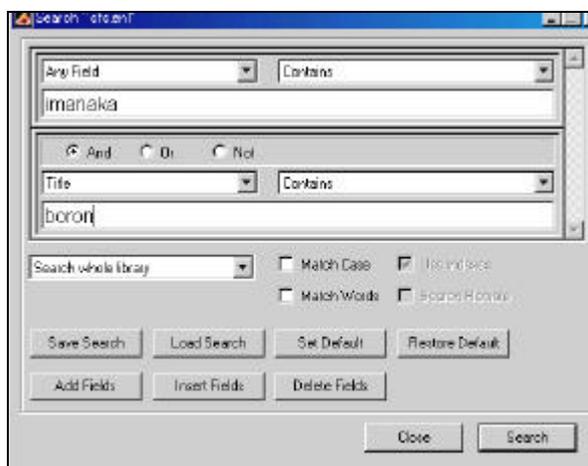
データベースの検索結果からリストの自動作成ができます。

文献管理ソフトへのエクスポート機能をもっているデータベースからは、検索結果を直接リストへ取り込むことができます。エクスポート機能のないデータベースからも、タグ形式で保存したものを取り込めるものがあります。



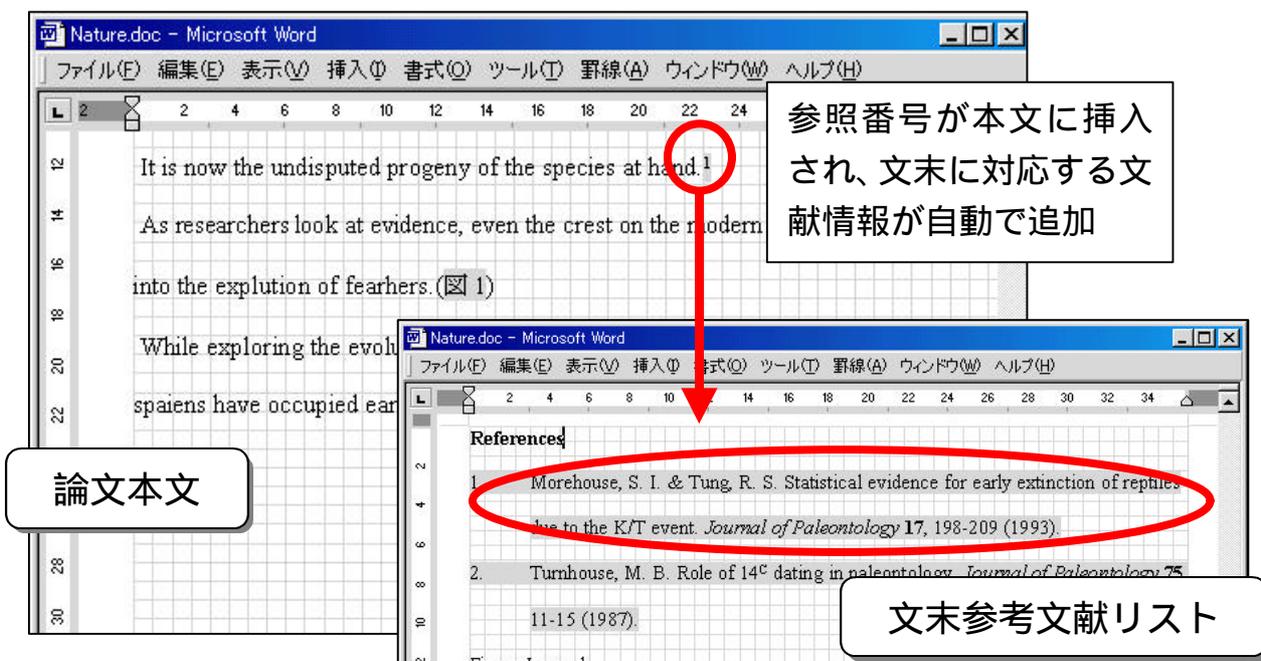
図表 付録2-2 文献リスト一覧画面

作成した文献リストの編集・並べ替え・検索ができます。  
 リストへの文献の追加・削除、リスト間のデータのやり取りも自由にできます。  
 またリスト中の文献の検索や、主な外部データベースの検索もできます。



図表 付録 2-3 文献リストの検索画面

参考文献の自動作成など論文作成をサポートします。  
 インストール時、Microsoft Word のツールメニューに『EndNote』コマンドが組み込まれます。Microsoft Word での論文作成時はここから参考文献の挿入などを行います。主要誌の投稿フォーマットもテンプレートとして用意されています。



図表 付録 2-4 論文中での参考文献の作成